

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0959
施設名	うめのき保育園
施設所在地	小平市鈴木町2-186-4
法人名	社会福祉法人小松福社会

1. 活動のテーマ

《《テーマ》》

戸外遊びの中で五感を使って環境を知る

《《テーマの設定理由》》

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

乳児期は、五感を使い自分で感じながら、自分理解や自分を取り巻く環境を理解をしていく時期と考えています。

2. 活動スケジュール

①水たまり...9月

②初散歩...10月

③落ち葉遊び...11月

④いつもと違う園庭...1月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

様々な感触の素材や、体験できる環境を子どもの発達段階や興味関心に合わせて設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①水たまり...園庭の水たまりに葉っぱを入れてみると沈まずに浮いている事を発見した子。同じ葉っぱを何度か水につけていると、ついに沈んで見えなくなっていました。「なくなった...。」という言葉と共に、別の葉を探し実験を繰り返していました。葉っぱをちぎって水に浮かべる子、猫じゃらしを浮かべて、「葉っぱが泳いでいる。」と素敵な表現をする子。葉っぱを探している途中で見つけた白砂を両手で持ってきて水たまりに落とすと沈まずに舞うのを見て、「あち！あち！ふーふー。」と火消しをイメージしたかのようなしぐさをする子。それぞれに試したい事があって、あれやこれやと試してみたり、友だちのしている事に興味を持ち模倣したりと様々に楽しんでいました。
- ②初めての散歩...見たことない位の大きな野菜に出会ったり、つやつやの葉っぱを触ってみたら、つるつるという感触に気づいたり、好きな色のお花を見つけたり...と、保育園の外には新しい発見がいっぱいです。
- ③落ち葉遊び...たくさんの落ち葉がある公園にお散歩に行きました。クッションのように座ってみる。葉っぱがふかふかで上手く歩けないのも又楽しいようで繰り返し葉っぱの上を歩く。「サクサク（って音する）」、「いっぱい」、「きいろ」と、自分で感じた事を言葉で表現する姿も見られました。
- ④園庭の砂場の様子がいつもと違う...。前日に幼児さんが大きな砂山を作っていました。ふかふかの砂山に、足をとられないように慎重に登ったり、登りきった所から滑り台のように滑って降りようとしたり、慣れ親しんでいる園庭だけど、いつもとはちょっと違う環境の”違う”を楽しんでいました。



5. 振り返り

<振り返りによる担任の気づき>

水たまりや植物など自然にあるものから、五感を使って様々なことを感じ取っていると思いました。大人は当たり前と思うことも、子どもにとっては初めて見る出来事。身近にあるものを使って、こうしたらどうなる、ああしたらこうなると考えていた姿が印象的です。水たまりで「葉っぱが泳いでいる」と表現した子を見て、子どもにとってこれは大きな海に見えるのかも？と、子どもの世界の大きさを感じました。

そして、後期の散歩を通して、その発見はさらに増えていきました。車や自転車が走る道路、大きな畑に落ちている見たこともないもの...「あれは？」「なあに？」ととめどなく聞く姿が見られました。たくさん考えながら歩く中で、「足から何か音がした。何か踏んだ？」と感じ、自分なりに言葉にしていました。音、量、色、感触...「これは何と言ったらいい？」と一生懸命言葉を探し、感じたことを伝える、言葉にする経験を重ね、獲得していく子どもたちが輝いて見えました。また、その経験を積んでいくことのできる環境を大切にしたいと思いました。